

鍋料理用の固形燃料の廃アルミで水素を アルハイテック が南砺市でデモ

環境エネ・素材 北陸

2019/2/6 16:49 | 日本経済新聞 電子版

旅館などの鍋料理で使用する固形燃料のアルミの廃材で水素を——。資源リサイクルを手掛けるアルハイテック（富山県高岡市）は6日、同社が開発した水素発生装置「エ小僧」を使った水素発生デモンストレーションを公開した。

公開の場となったのは、同県南砺市で開かれた「東となみロータリークラブ」の例会。砺波市内の旅館「三楽園」で使用された固形燃料を包んでいたアルミを、「エ小僧」を使って特殊溶液と化学反応させて水素を発生させた。水素は燃料電池で発電し、例会での発表の際のディスプレイ画面の電源にも使われた。約60枚分にあたるアルミ廃材60グラムで130ワットの電力を約30分間発電可能だという。

鍋料理に利用されたアルミは調理場で回収され、事業用の一般ゴミとして捨てられている。アルハイテックは「全国どこでも廃棄されているもので、特別に回収する必要もない。有効利用を呼びかけていきたい」と話している。



「エ小僧」（中央の白い機械）で発生させた水素を使ってディスプレイも表示させた＝南砺市のよいとこ井波



鍋用固形燃料の廃アルミを使って水素を発生させた（南砺市のよいとこ井波）



旅館などの鍋料理で使用する固形燃料のアルミの廃材で水素を……。資源リサイクルを手掛けるアルハイテック（富山県高岡市）は6日、同社が開発した水素発生装置「エ小僧」を使用した水素発生装置のデモンストラーションを公開した。

公開の場となったのは、同県南砺市で開かれた「東と南みロータリークラブ」

鍋固形燃料 廃材で水素

アルハイテック アルミ再利用

廃アルミ由来の水素で発電しディスプレイを表示させた（南砺市のよいとこ井波）

の例会。砺波市内の旅館「三楽園」で使用された固形燃料を包んでいたアルミを、「エ小僧」を使って特殊溶液と化学反応させて水素を発生させた。水素は燃料電池で発電し、例会での発表の際のディスプレイ画面の電源にも使われた。約60枚分にあたるアルミ廃材60kgで130kgの電力を約30分間発電可能だという。

鍋料理に利用されたアルミは調理場で回収され、事業用の一般ゴミとして捨てられている。アルハイテックは「全国どこでも廃棄されているもので、特別に回収する必要もない。有効利用を呼びかけていきたい」と話している。